

2022年11月15日作成

Ver.1.0

**間質性肺炎における DNA 損傷応答による発がん可能性の予測に関する研究****1、研究の目的と意義**

間質性肺炎はしばしば肺がんを合併することや急性増悪を起こすが知られておりますが、詳しいメカニズムは明らかになっておらず、現状肺がんの合併を予測する方法はありません。先行研究から、間質性肺炎や肺がんにおいて、遺伝子異常の蓄積やコラーゲンの過剰な沈着が病態に関わっていることが示されています。本研究では、DNA 損傷応答やコラーゲンの解析により、間質性肺炎と発がんの関係性を明らかにすることで、早い段階で発がんを予測する助けとすることを目的としています。

**2、対象となる患者さん**

肺がんまたは間質性肺炎と診断され、2018年1月1日以降、2022年12月31日までに病理標本が保存されている患者さん

**3、研究の方法**

本研究では、過去に間質性肺炎または肺がんと診断された患者さんの病理保存標本を用い、DNA 損傷応答のマーカーである 53BP1、コラーゲン沈着に関わる HSP47 を確認します。併せて臨床情報を診療録より収集します。

**4、研究に用いる試料・情報**

本研究では、過去に診断目的に経気管支肺生検や外科的肺生検、根治的外科的切除術により間質性肺炎または肺がんと診断された患者さんの病理組織を使用します。

また、診療録より主に下記の情報を収集します。

患者背景、主な既往歴、主な合併症、血液検査、胸部画像検査、呼吸機能検査、6分間歩行検査、肺がんドライバー遺伝子検査、間質性肺炎または肺がんの治療歴、治療経過など  
本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

**5、研究期間**

研究機関長の許可日～2025年3月30日

**6、外部への試料・情報の提供**

該当なし

**7、研究実施体制**

この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。

《研究責任者》

長崎大学病院 呼吸器内科 谷口 寛和

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7273 FAX 095（849）7285

## 8.お問い合わせ先

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 呼吸器内科学分野 赤城 和優

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7273 FAX 095（849）7285

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）